謝 禮

謹啟弊店や大 正十 護己己芸が中業務小日益隆目言の己至幸的 誠心誠意로 貴客本位로州 司開業引作爾來日淺月薄言是不拘引五 하 온 中 顧客諸賢의 多大 ご 庇 一年四月一 勉勵 日早

幸乞倍舊眷愛する。 感銘深謝
みそ同時の 의 榮冠을 獲得 かそなそをる 顧客各 位の深厚空同情会賜言結果るの忌 今後一層勤勉하以外至日 謝禮無怨望するけ

仁川米豆取引所仲 太 仁川府海岸町三丁目 新

買人

田

自宅仁川山手町二丁目 話 略(二)又ハ 長長 四二 五 Ŧi. (カホタ) 六 四〇

		ļ	瞬	- t	·	4	.	1	fi.	•	百		<u> </u>	4	第						執	Z			日				ij:			- 199				n	<u></u> 四	+			年二	+1	大	(n)		的更多		<u>el</u>	81.	(=)		7
(伯林十二日政治) 首相「ユエ」氏ル帝國議會外 交委員會の日間	獨相首		八日中の山地方の	付片	b:	(伯林十二日)	一佛軍戏嚴令布告	版書着も獨逸の	 中 立 の 車 及 に 車	ユデナュ 及機関	(巴里丁ード番	佛、早り	發表からい	(伯林十川波雷	一佛軍	劒人市から	『対他』号占領かい	何	β•		計争規定 も外の風	+道德教育及實	可型開系統を政定の立列と	ツモ日新学制を全文十一個條三成	果豆同省四學網系近省民教育家養的	(奉天情報) 奉	奉天學問	光水が凍渦明や段(庚東十一日發)	假陳烱明到荊	か ユ即時化職事意	行하ユ今後地方のユニ条単の配置が	**によりしまりずにのいる。 こうじょう こうしょう こうしょう ひょうしゅう しょうしょう	付戈が格々定하る(泰天に報十二日	張作霖土匪討伐方略	和統一の七贊成立日日(北京十一日後間)		むる		「議。裁兵来き提出が立閣議で 通過む放豆裁兵令者競がオートート	表上	文を大連の目の日		日中協	2氏ル任命되せの外(北京十二日資電)	程司	(北京に) 近隣な代 ユミル製作	羅文		・版句政府で (北京十二後)	國會業	中	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O
いだ) 首相「ユン	賠償	有も意も適牒が	卢取业手段中州	何上ナ传学が近岸	ても	改武)佛國軍モー	中成器	群衆モボ中き彷	七停止する 其他	統の若干の十一斗如が就業が円	以上) 『早る」地	テめ上	더라	の佛國や『	佛軍『灵烈上領公表	라	一領하 뜻 叶片電	7年1		米	学校教員を一、よ	が教育3二種 二	足引立又教育主旨	文十一個條三時	7.統綱要を改定される。	大省教育廳老品	刑改定	(陳栁明の라い己) 昨夜荆州の	 明到 荊	とき取命 からいい			奉天軍十二族中二發) 張作霖氏	小土匪	日凡國八年議員	張總理	五爻自计系	可じな	川が立閣議で流	対見	於制	刊を必要が生む。 交通部の4	定細日	サーラーの一番を表しています。	法總長新	お 火 の 早 8 8 8 4 8 4 8 8 4 8 8 8 4 8 8 8 8 8 8	羅文朝無			國會議員張剛	5 2	
三氏・帝國議会	十 止 酸	핫다더라 ● ●	光石炭 でんえか	至分	打四日	一日午後一一人	心令右	원한다더라	交通之一時四山	午後二時で	万平占領や何部	占領狀况		엣센』의 占	三 領 公		い日 佛白八	りない		骨		中國南方の旅	三 八十四	(北京十日祭	京 日 学 日 引	項規定及施行	細き規定を行う	豆む事斗是等な	校、三、大學校、		計分すい 各地域	精兵 一千二百名	七旅全部書討供外近來匪徒早世	 的伐方:	青年重かり五次南北統一通南の	張總理通電の	一		過む故是裁兵会	言的では	義直	9 細目協定者協助使宣傳科斗加	再次的	止延氏 早離職 辛	長新	在を確し可能			では 一日 では 一日 では 一日 では 一日 では 一日 できます いっぱん 一日 できません	从 料 單 劾		
外交委员督叫日	明明	•	1 三层管理斗政治海线外科	ル ル ル	旦世代	何し」市『戒嚴合	告告		川可以七日襤褸	人性」市の中心の生活を不常み無	9事後小無司完	沈		山路の佛國之『刘也』の占領是公式の豆			お吹叶七日 佛白八千의將士가 一併白兩國軍・十一日午前十		1 0	報	1	圧하引みの 引足を行り 日の日 必是を	日病氣靜養膏爲記	《北京十四發電》 露代表『日本	長	神則や別エ此を担	쒜砂規定を行하びユ但右學制の各の「一コ主旨方法修業年限等の對하の詳行	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	専門學校の三紀、師範学校、職業		改地方官母責任♣	1一年)支援分よりの一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の	以州하ユ司令官で 便行むき憤慨하ら	略	民國八年議員者 尊重が引五條件を附が父兄と平民國八年議員者 尊重が引五條件を附が父兄と平	性らい	餐房		き級がオ르決かめ		时	滑き取消で結果	協議	TE	任	投級交易 "無關"	易		質問許手提出が平延可限内閣 彈劾※音提出警模様の5) 縦文株の武器租借 法す 對非 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	劾	局	
-			的政	Ė	內閣	4 件 萨拉	· 次 · 如 · 如 · 如 · 如 ·	後一時の影	で衣」首相鐵川	到着 午前十時 展す (夏方門)	アか 二人 大人	하 맛더리	→ 築地精養	三島政	共富施量見	き殿 車軍の	将士汁拔縮少整理の案で不遠間承認が生工所十民、降の駐兵を繼續する不可能が	一側減む今日	部内のそ既	(東京電)	亞港	香港一川ペス行	・ 浜制度量質	3.人(油鹽十二		中意	34各日計の詳行為で『判コ	教育獨逸可抗藏	被制 (華盛頭:栗野 ・ メーラー・オーラー・オーラー・オーラー・オーラー・オーラー・オーラー・オーラー・	と木月十九	が時(郵府十一	英米	1名 故里實力可能	「千日本」氏	一自首	馬克の日更	月本一順の気	米一弗可對	· 英一倍。到	% 獨逸	● 分別を加	金倉職地 佛殿の如何も 行動を執むれた結果を「作材十一十分第2種送人		獨浼			1 9			中止さい	の テー 條約 号破りを破りを	
三年版上を對	俯會議席上の 本川圏モ去年落	上奏文問題の對かい最後の政府七日中郵便收定の関す	『一十二十日本園	切り 引きる 一種 おりましき	會議決	4点表半月彩耳引	火斗如司 引引	以育が少七日次の問題の動きがいいます。	日子除か正各大田	マース 首相官邸 (P) 「大力が限を	(東京電) 「本定例閣等		- 奏地精養幹のは開催する	大會開	하리 라	改昱四月軽氷 高州向から此度	案の不遠間承認識額さる不可能	の七現狀斗如前	可可港駅屯部隊	日本薩哈 題出	亞港駐隊縮小	きぎょ 11の経済	□兵制度量籄施하り呈하五滿□□	一一致電) 消磨	i 3	中露銀行	谷り引行為と『州己外の介』像約号破計行為と『州己外の介』像約号破	か サマ 公文内	三百百五十八万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万万		日發電) 米國	戦時倭	訴하・佛國斗協 小を 手段	「不りる」氏を代議院の月演設	林 演 新	馬克の日更可斯落のゆいの	對하ゅ四千九百	卟卟一萬二百三	いい四萬七千九	一獨逸馬克低落	三世 ・	で行動を執むスートを定復込人	一段記事地た	獨逸大統領	合議中の可引 獨逸さ	獨首相谷州	「華盛帳」「「遊覧」別名の「華盛帳」「「遊覧」の方侵入・野社次議会」	佛一字、	獨大使抗	中止さいかがいい	の子」條約を破む故外交統通を説明すり日佛白	
・・・見	能二十	が視府의 本人及	護の	学 一般税者	定機組入	ひそタデアデオ	}	事し	6 H	5間催す一合合	= 171 - -	大正十	呈決定 注円		•	共命	七故	日子	大幅	清	_	本	十歳 壯丁澂 別鎖吾命하せ	路闕官憲・當	徴 人	支店閉	破み五日國際法	容者が表すまし	コン	발할	大蔵卿『叶そ』に	2372	하湯	説する。丹昨年度	4	英観商	子八つ。	十四馬「豆し」	百八十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	1000年多加女	一里次定計	トをデルトート 中に獨逸で可成制第一。 皆三二八	獨逸國民	假及內	相写五工	首領	マナー川城務期	り」侵入	議書		似豆獨・逸・日兩國の暴	
	年度以降 等 造工 酒稅分平 管	類号合算を時で	税領二二二〇紀比例がサー人の	1、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	本道内 片背 (八二八四、六五八	造石品を四四五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	七人)二星此稅約	白米七、七五三人合計二二〇	一人)別城一四一一人)別城一四一	向九人)水原ニー	六人)に川六、(城五、三二八、〇	华九月以降京	酒釀造	立委員會号開る	の基かい方針を関い意向 三利田	九郎以外中國側	126171中	经員會	1	府三上奏すい棚子の異議が無す	4	1	- 1 • [[3]	िसी	1	鎖命令	公司 違以引 9 F	モ日獨逸の右公	四年中間が出て	サイトをませる	こそ 英米戦時債	協定說	8三千磅の斗り、2年報人報をし	10年十十二百十十二百十十二百十十二百十十二百十十二百十十二百十十二百十十二百十十二	中度海外貿易統	務省發表き様む	7 2	1 脳	世代	ri il	中央七日伊太利に	(的忍耐) 意意	i or	閣布告	小 獨逸各州首領	召集	河齐坐 医叶叶树	對	Hi		い賠償義務	
一、四七九合	石高さ 大正合政施即大正五 其	や、倍乃至に生	四の中此の11人	: 11 -	19年費祭9日	<u>气</u>	報 111111111111111111111111111111111111	二、五一五合三二六(二六)二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	一、〇〇八合		四三大、三五二八八九合、(製	畿道清酒造石	状况	ガロッド日中日	*決定次显十四。	新才	一中国に	用 没		府のや釋明	府中此の對	j j	豆牛司二十 地方のは徴歩	判がい反う	施		指摘すり	义明佛國印四十一	別計・	다 라	恒遠委員會	現。	チル百	高級	三千镑リリーを	今一九二二 又旨		海血ュ因うな	開土	E 有 J	行	命令する決一二百年を表すりと	段 ア ト 日	ih š	限十二二 優良	H 方。 本法。	7.提出がタローキャー・	1七年	产合为	皮	で世十一大正	
輸入及移	他類品について			支草 ヘゴ	軟		六萬三千五百五八十四日	八十四 りょうじゃ 一味 移入 貿易 そー	貿易十一萬六千	萬九千百三十八中 9 京城通牒貿	域稅岡出没所以	京城通照	110	二 匹		—— 四七	四〇		五元八元	101	豆1,00	百名 人名	4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ム中出荷 小大概:	北月休星去來外	品種別數量及其	四五千八十千噸	二十	だ用数に置き	野蝎在貨	温々駆者せる	· 金,真子子子。	朝鮮内のお加工四部新次朝鮮内の	次内地其他の 片切る面の 顕著の 競技	といういという	意则 自己不足的 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性	1一步、馬刀數五次五叉動力使用	古七十五燈、一	増加すり近増加する	比外世界登岐の記	2. 萬四千四百四二萬	三燈りヱ此る十紀を見せると	强氯异社 9 下坐	力も目	は ひまり は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	酒や對かい液色の飲ぎがある	1.背異当に見る好かや人の衝突」。作者・自然	ヒョネルト月季合の増加がサユー	4. 財化せ待せ二二年 水道・年度の一二年 水道・年度の一二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	对"一大人",一大人,一大	ストレスト これ 一大正 七年 一大正 七年 一大正 七年 一世	
入品		•		大田・九、三七二	阿口	다 라 다 라	十二周のサ其主	百五十四萬二千	七百八十一圓。	圓、同上陸接國人國大學	調査も去年十一	開貿易	三,) —	四、 1七二	O. Δ - 七二四	六、△ 二八		0、1、四六1	七五期	数が前旬の前旬の	から大き	鈍狀を発対失す	香幾分間以週前無お父そり前旬	地域や別記斗如	の早削旬の比が	八百七十三噸、計降行一萬一千百	一旬末	狀況	二階だおい引	仮化學進步の因	収賞하せ者ルドゴ原料を使用す	加工品サ輸移入選申リ假令従来	の動力を製造工	· 「加率→示	百八十二馬リリ用者七五十八月	割四分割の増	割合の「割三分	一路上十七十七十七十七十七十七十七十七十七十七十七十七十七十七十七十七十七十七十七	、馬力敷四千一燈の日動力使	燭換算の呈す			将来る斯業も	の無せ芳醇せた故呈最近も	ドキ異等以近の分類がいる傾向に	近年生活程度が	、 比九州、 つい カガ 八九 八九 八九 八九 八九 八九 八九 元 元 九 九 元 元 元 元 元	三七合 大正公正八年記記年	E (章) 全 で で で で で で で で で	
- 竹等七刻三假	火一年未漏人	八人、朝鮮人	者の日五関以	五四以上納付	一番の叶本年度)一該議員の任期	二里三十名四十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十	千七百七	本年十一月。	FF T	水	牙の系	七月日的多達外	モ以上も其監	一寺有材産の幾い	法十年日比外	要求上門組織	関め在む辛苦	練時代研究時代	教斗日本神佛	同事業者がたけ	三十本山当聯	豆彼外此や時代	無む人の引云	水の朝鮮寺利の	化上9 多大社	아 또하는것으로	侶を得か立完	開法人の完全記	から かせいり	い 将來發奮すい	その論の中此は	光奘人勿き 得る	自此皇事業を進	が困難で事見財然の分見等目が	公子是第三方	革新	朝鮮佛	合 計 長 三	_ 物	材類		他紙類		機構的	矿烈	日本棉 學	負組 分 一	化糖素	化 草 花 草 花 龙 龙	化 新 八 新	N 来 不 及 都	
定がい丘七千五	、宗資分産準禁滿人、婦女、在	五千七百 - 十九	上下府稅納付者以來一個年書組	A ≪一十 1 歳以	3.行贈者や直接 小滿了も放忌改	交員の選出 ヨッ	H 分3有權者申 H	の一回選舉常時の選手的協議員	双型 1.13 A 1.15	競手型造	Y	可以量態以早新	省世充分司하り	万号別하水巡答:けむハ라宮局の、	10日此點の願	セダー・対力之而を対して対して、	1年間の依みの洗りの洗り	八の関う立今回	ピグリュニョウ1週の機様子童母の	四人名本 市大寺	古・豆組合み如	の日従来の聯合して異かり主旨し	の小此七甚を終り	在本寺聯合み大学の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の一本の	利益5 有計會	り引 一般比案:二朝鮮佛教の第1	五寸布敦資料量	御料片之音方	香里思のエキの	が大都業 き完成・互相協力 一致す	別のおうりのない場合は織する古	教務院の局の質	行すめ 更す不少	海法人の許可い	鳥田宗敦課長懿		教一大	一八四 大大二、五五	「第四日 三八三一四日四日 三八三四日四日 三八三四日四日 三八三四日四日 三八三四日 三八三日 三八三	克言	1、0分	12 九七 九七	"七世里" 七世里	1.20	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	건설 2 1	があった。				#1.40# #1.40#	
八八八八十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十			*	ューラ 有分		大明 民間	樂	▼四 途하고十二	群二	心質府二十	土木	한다여라		月 作、監查役	可城一名欠員及可遇	一般前期同樣二	與刊 後一時三日 株式 自計道	漢城	二豆 几脊戰	本督一、取締役B	シスー、取締役間で するの 以前	4 推 计 1 上 2 工 3 工 4 一 、 監 查 2 2	兒。四件	売ルー、第三十 き従 □ 9件	五信 照表財産	ゴ風一、第三十段 音開催하고	作者 三時本行為	いき 特一	財	ない 丹き附議が	利配案(配當	新 線及損益計 関替業報告	も 第三十三期	有株式會社朝	商業	事がいい	二千七萬三	七千三百八十二月	轉寫 資金	十七周四對	七十二萬五二	一萬六千四百	七百六十三回	八萬九百七十五國の中支持	十六曜四野中	九千二十間	千五百二十七四、	百八十四間、		爲替貯	新有権者の強化を	
	後8一時新任日禮=《新任京畿道徳川郡	消	不り親は含糖を	通監の川路寺は	玄『凡用方志』 マ十三十午前+	有志者會同	타	11午前十時早日	楽港の関す	木台議や既報斗	會議開		慰金贈 50件等、取締役朱性母	関冰綺男任助端	确了四封하作此俞致衡、恨弘祖、	豆九分の四尚日 間望 司の日今期	同行司 片第三十	銀行總	對き慰労金贈生	网裕植、監査役窩件	Q裕植、監查役高 8年	金文煥氏任期滿了		二期利益金分配	目錄及損益計學	三期營業限告謝左9件を附議む	月第三十三期定 一銀行≈來二十	與行終		叶叶叶 骨除す)	そ前期平同様の	件表	合手開催	を発	銀總會	コニフェブロ	1.千大写儿十副 - 三	下六圓、昨年十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	守り出納額を加めている。	はな時で育二十一	九百五十一隅	1.十八阻、 6.1	" 擬粹貯金四元"		時七五四一千四月十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十	一)調、選信能人士提、貯分二十三	郭便貯量七萬七萬七	八例貸替二十四二月分貸替貯分	金受拂狀	원화開數의 Ji]4 라이라이라	
	逃ュー	八十	行り	教科書家	時半半前塩	後	2月:	七清津 コー関八	協議をおい少	刘十	作 工同新	福约方	氏死亡という	4	事 教	取締役の二百点配當を 今期大に	定午	曾	['] 의 作	尤默州 日新 日新	尤 默 兩	(1) (1) (1)	2 }	矣 决 議	書水認大		時總貨大月限	四三月月	131	→ 13		企金分 大	¦	9 -{ >	解 込 き	工事動	明計れなるのは	二月分 秋 佐 七 退十四萬 可 十四萬	外が明明各高等	一萬五日前世中七十二日	- 三北 上の朝鮮	計正百 験の 小入	九十寸元素音の一千寸修発す	ローチ 智三하日田五十 本の精神	ロ七十 公共の安の千六 その給り	一個地方当改	-八曲政上『緊一四八講演』上	千二段 產業	英三日七地方	の日本の大	民	-
*	即取引前。	側八十銭寄付すり はいいい	上四ず	1・弱も狀態を	5 5	場開	多りの日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	十段丸信十圓五間の や鮮新二十	調七十錢二三六	大街を八十五眞ユ安収を十八圓	そ四十一関十級	1111111111111111111111111111111111111	天子丁日中津四十二年版の七寶方門		作出同様價呈四級と依然軟弱する	으 六	場軟	京区が日	三大、五〇		000	200	O _₩	1-1	阪株		O九 ○ C 二 二	-, to C = =	五()	- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	三日	阪 三 1		间	公布望皇	で 三季 雷局の日	多数世界上のなり	年後業生の将な	曹道學校年五風	文部省認定文字	1	以試験と限制の	とせどの ひかい かいりょう はいり はい かいり はい かいり はい かい	リキョンスリースを持つりませる	塚福祉を増進份は▲ユリト行政	良欲肢を囲むため	切れせのむなりのなり	生产分析民类学数学的工作文	行政・社会小業の保証を	行政課習所內下	2000年 金田村	
九九	出版の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	近十四 注 短 二 九	立台・日京の公司	大新	●	少取引以	十段現信五四四個強新十		谷二	50 lb	飞約卡	は脱柱橋下 4年	第三 第五 七	七立	り新た▲	能力量大) 11. °	三六、四〇段四		7 = 1	近つ四	五,	削場	江	• }	四五、五〇	ニカ	.	Łi	削場	iii		况	山 恭	ハモ早速す 阿かか	でいる 原 一川道	· 作入學 整 不 啊	年卒業中 同企剛	するのを	各高等性机布	9 試	▲新年9	科目士講		七本旨早 仁川		1	地方收 ~ 內	村二週间 人 新	来十五二 と 野 に 野 に	
라	の場合という。		がぬる 1	り ・	と亦不成り四次 サ接い正場面	四後節四		電信略5)耳豐盛	仁川米豆取引所	川府海岸町三十	三節 當中兩個	十一錢可始中	の態を作する世	二節 反曲後間十六丁 低り 利付	二十二圓八十九二 當中兩限	十一錢的情	を受けています。コミ及落みの前		で学ります。日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、日本のは、	€○一銭の別という。	7.高價 18巻後		為。思	孫			· (K		節六十四銭の前	₩4大阪二十七 イ 不 万 二	住來	**************************************	The same of the sa	雙 扇面	公 和進程	衆島	作	igi (fi	金大 wi A	the A	一月十三日	糸布片	電話~~	仲	川米豆取引所府海岸町三丁	八四八〇〇二二〇〇二二〇〇二二〇〇二二〇〇二二〇〇	1一六0	四部	瀬 取 引 後 塚の 八五八〇	四一八八八 〇	
	日高低의差小上設の上記を持ちます。	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小成の十中限を口七十三銭9高	高も後	製を九十二調路の1	五番	A7 .		上上		目	ころ不成り円先	六銭々刃小灰	已成一 已 叶 \$ 让 叶 \$		でで、これの中央	接が立立合か	はき止かれた) <u>*</u>	· 十六 五五 段 、	・ 戻價の資押し	立體の下二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	1. [2]	S.		林	117	N. C.		Ви	圓五十五錢○廿	三圓臺)。			1 MIN (00		四五	o	九九、〇〇神	00 00 tdi &	000	崩場	河 斗	~~二 八八一 三五〇 番番 り則	店	人	四十二〇二十二〇二十二〇二十二〇二十二〇二十二〇二十二〇二十二〇二十二十二〇二十二十二〇二十二十二〇二十二十二〇二十二十二十二〇二十	16	四引 化五〇	四 市	- t	
111	を 記記 型と	1	日東 出 三元の	外鱼流 亚〇	湯湯 1500	16 3	九新·路 四部	在 司 ::::3	以 計 1150	京取 治	乾 名 向	京株野賣				安高业	11付 一銭の日	르反戻하ゅ前場 閑散하ゅ一銭々	限÷九十三錢≈始 當中兩	7上かけ 次級ユヨ	마咋八十七錢々二十錢一口呈先!	●第五編 常限	1年 1月 1月 1月 1日	一十二圓九十九2000年二十二圓九十九000年中限を三十	八十一銭の反低	一段の止から	昨二十三圓々十五錢一口 呈	第三角 常限	さい 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	七二十二圓十不成の小中限	十一錢已又復以二節 阪地	N. こう では、いから、こう では、こう では、こう では、こう では、こう では、こう できる できる いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	十一圓三十銀	($\bigcup_{i} \frac{1}{i}$	た川米豆以川米豆以川	一立	一段・三二節七十分の入かり大阪初	後の三銭の場合	十二段で高度を	と可見時何程度	は新規の防戦型の関わる。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	一戸撥き星砂節の中側の	· 二豆多少饭復日一	觀 然 5 計 霞 材	今日形勢小衛な		お紹付りいる。	同様と	一月十三日	
								•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••			逃逃	躺買買價十三日	二十三圓〇三部	二十三圓十三錢	格二	ニナ三関十九銭ニナ三関十九銭	二十二圓九十四十二十二圓九十四十二	る止が 片高低 当 れ 小押 む 後二 録	始かり場面の極可	反騰も後九十二	以受力十二銭の	1 140 1	すて五銭○	・九銭の始か昨二十二二十銭一口豆先限。	立当時	七邊	下落。 まい扱い	不成りいい	こ殺判さい ほうじょう	呈线 突 0	反機を受引ユ當三節七十八銭四	シガン・ しきずかり 外側値 3 町 川値	→豆光限モニナニ	5.6	fdr j	外門は人	不及可小印度。	7二銭&情報を	で止ず 気や日今前の八級 4 万円池	接可立人氣更	小機の ユ 만む 反なべ 上がせる	段物の相當の現場が七模様の円1	戒から低	얏 도	プレスの循環コロット	終り 層別 海	が御きぶせ		1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	中山場面の俄で七週六十一種の	短飜)日前場	
	原電機 悪 の			単支端 云こ	動物元	東抵路票司	解1、路点	同新 明 300	:: 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	美服 一名	後期 同新 语 三	日 株 名 育湯	-	(Ž		, In	月月 (1)	同同	同何是是	后 同 l	日间	同同	三手袋(ひむ)	三。	小	<u>-</u>	2000年	1		の 司俗(早年日)	的知		可同	番 毛内衣	同同	内衣へルへ	동	ナーク	大師	司	※ 本 本 作 作 作 作 作 作 作 作 作 作 作 作 作 作 作 作 作	水 · 水 · 水 · 水 · 水 · 水 · 水 · 水 · 水 · 水 ·	五四至	三二一	1			とに一変質	が接き 高止が 値値有	7:5 C	大丑四百百百百	
West of the Control o	0)	<00	CO	0	JU	0.)	υ <u>υ</u>	100	10	10		場 後場 前場	11 11 12 13	度得了	取引证	•	か上同		一枚 七	_ 文 同 l	並 中 同同	同同	一枚	下地同局		宣愛七番 五	門買		Dispipit Line Line Line Line Line Line Line Line	男上同 八四)女上同 1110	一枚圆。	見 同 大	中同一四	上同二四〇〇	並同 三	上 同 三	調	月二十四日	正安置之	七萬九千九百石	二萬三千九百石	高工于五百万	二十三関九十	二十二則九十五錢	價格	完新長六五〇番 民一四一番	倉	所二	二十二個九十四錢	後傷(電話)	二十二個九十二十二個九十	·
	9度清	到 别	東型沿	阿劃活	·····································	制制 引引	中鐵品	無錢 引	\$ 6 F	明 省	• • 1	後中場		道次	一員人	1-	1100 韓山白学上				<u>.</u>	1 7 6	at 100	八〇同五	#, lll	五五番同普通	a 151	= 1	l_ 闘 七	八八八〇四丈別			 -				查)	同純仁 花		(同三		去同日		五錢 同 無 紋三蟾(五룖一		. 4	店期段	九 段 中 a 7 同 b 叶 f	山 設 設 以 同 同 同	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·一接一同《龙野》	
						(#)						前場後男	出い。		開放の技化の	#	中学上	各色白	新] 中]	中 便 第二二字	附蚌產油デ布	文維官紗	化紡上品	五足同				灭別紋官紗		紋花官鈔		国語三亚二三 黑紫并每方 三亚二三二			生庫紗頭黑紫井毎万	近黑紫井每方	花熟素	花純仁	F	T. 44	· 通	上 品牌	即	永紹)永	緞房時價	一月二十四日 一月二十四日	年		E 並 中	同	中 主 同 上 同 足	
											• •	前來 跨 選 後 中	1	大し番	五〇番番	7,00	O O	八七五五			八五	二 八王 〇王	E 亡	1100	九八〇〇	五七	t = 0	3 6	五七,		TI O	17:11		ニスの	=	11-11		九大五〇	大工工	大 0	三大, O	大の大	一大 文 六	が六二二	價。	\ \frac{1}{2}	势	7 mo	一、元 四〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	五 三 〇 〇	- 三八大 三八大	

